



ご挨拶

理事長 小前 繁

平素から、当機構に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新天皇が即位され平成から令和に変わり、新しい時代が始まるとともに、まちづくりにとっては都市計画法制定から100年と、大きな節目の年でありました。こうした中、当機構は、昨年も、全国の土地区画整理事業の促進に向けて専門家等派遣を中心とする支援業務を展開したほか、受託調査研究としてまちづくり勉強会活動支援を行いました。また、立体換地手法の活用促進に向けて「立体換地手法活用講習会2019」や「立体換地手法活用相談会」の開催を行った他、中心市街地活性化に関しては、埼玉県川越市で「都市再構築・中心市街地活性化講習会2019」を開催し、多数の方々にご参加いただきました。さらに民間事業者研究会においては、「2030市街地整備のあり方検討分科会その2」として、未来を洞察する視点を取り入れつつ、ポストベッタウンの市街地整備のあり方について、調査研究を進めてまいりました。

今年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。また国土交通省の新年度予算案では、「防災・減災を主流化したコンパクトシティ」の推進や、「歩きたくなる」まちづくり、「スマートシティ」の構築を柱として新たな施策が打ち出されました。区画整理の関係では、立地適正化計画の下で防災対策として実施する区画整理において、土地の嵩上げ費用が都市再生土地区画整理事業の補助限度額の算定項目に新たに追加されました。

当機構としては、引続き、取り巻く環境変化に対応しつつ、土地区画整理事業を活用したまちづくりを促進するため、公共団体の皆様や民間事業者・コンサルタントの皆様のご協力をいただきながら、「専門家等派遣」、「専門家グループによる事業化支援」、「業務代行者の紹介」、「立体換地手法の活用支援」などを進めて参ります。引き続き当機構に対するご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和2年が皆様にとって実り多い1年になることをお祈りいたします。

「民間事業者研究会」の活動報告

◆講演会

令和2年1月14日（火）に、博報堂ブランド・イノベーションデザインで活躍されている、根本かおりストラテジックディレクターをお迎えして講演会を開催しました。講演会では、根本氏から「生活者発想による未来洞察プロジェクト」と題して、未来洞察や未来シナリオの創発について講演をいただきました。その後、経済産業省が取り組んだ未来対話 map を用いて



↑ 根本かおり
ストラテジックディレクター

意見交換を行いました。50の未来シナリオの中から話を聴きたいシナリオを選んで皆で投票し、投票が多かったシナリオについて根本氏からその背景や意味するところなど詳細をお話いただきました。様々な意見や疑問が出て、普段の生活ではあまり考える機会がない未来の暮らしや社会のあり方が、少し想像できたかもしれません。



↑ 投票の様子

【意見交換で取り上げられた未来シナリオ】

No.40「ひとが住まなくなる地域だらけの時代」

No.12「全員が地域課題に取り組む時代」

No.27「国土をシミュレーションによって最適に有効活用する時代」

No.17「車が社会インフラになる時代」他



◆現地視察会

日時：令和2年1月14日（火）16:30～18:00

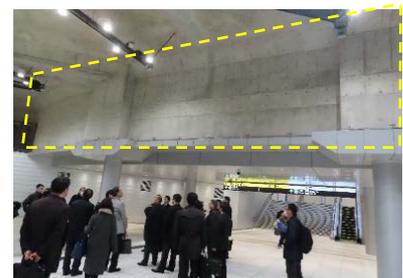
場所： 渋谷駅街区土地区画整理事業

講演会に続いて、渋谷駅街区土地区画整理事業の現地視察会を行いました。東急(株)の葛西昭仁氏とUR都



↑ 葛西氏（左）と阿部氏（右）

市機構の阿部英和氏から事業概要説明を受け、100年に一度の渋谷大改造は、雨水貯留施設やタクシープール等の基盤整備が「公共貢献」⇒「容積率緩和」に結びつき、渋谷スクランブルスクエア等の高容積建物群を実現していることが分かりました。その後、



↑ 地下広場の天井のBOXは旧渋谷川

渋谷川移設の地下広場や雨水貯留槽、西口地下タクシープール等の現場を見学しました。今しか入れない貯留槽の中を見学できて、貴重な体験でした。



↑ 雨水貯留施設の内部



↑ 西口地下タクシープール

◆令和元年度 第2回役員会及び第6回幹事会（合同会議）



↑ 若狭分科会座長

日時：令和2年1月23日（木）

16:30～17:30

場所：促進機構会議室



（株）相鉄アーバンクリエイツの若狭分科会座長と東急（株）小川幹事長から、分科

会の活動状況について報告しました。分科会テーマに沿った講演会や見学会で様々な知見をインプットし、WSでアウトプットする取組みに、幹事からは、「非常に幅広く勉強されており、驚いたとともにうらやましい」、「理想を実現するために区画整理を手法として活用する、といった観点で進めてほしい」という意見がありました。また、意見交換会や見学会の報告と、2020年度総会の日程の確認を行いました。

◆令和元年度 第5回 分科会

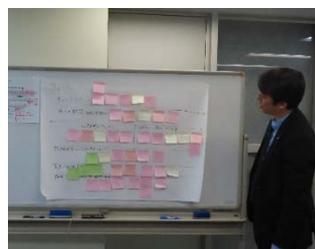
日時：令和2年1月27日（月）14:00～17:30

場所：促進機構会議室

第3回分科会で決定した4つのテーマ（フィールド）で班ごとに「2030年のまちづくりの方向性」と「提案事業の内容」について、ワークショップを行いました。各班の検討内容を共有する発表



や途中休憩を挟み、3時間以上活発に意見を出し合い、提案の骨格をまとめました。



◆令和元年度 第6回 分科会

日時：令和2年2月17日（月）14:00～18:00

場所：促進機構会議室



各班で発表に向けた最後のまとめ作業をした後、

第1回分科会でインプットトークをしていただいた日野市企画経営課 中平健二郎 戦略担当主幹を再びゲストに迎えて、検討結果を発表しました。今年度のまとめの会としてご案内したこともあり、分科会に参加していなかった幹事にも一部ご参加いただき、総勢30名を超える参加者で盛り上がりました。発表は各班ともヒートアップして時間超過、中平主幹の的確な講評に聞きながら、熱気あふれる会となりました。発表後は最終成果品の



↑日野市中平主幹

まとめ方について意見交換を行い、中平主幹からいただいた講評を受けて事業提案の部分をブラッシュアップし、3月上旬に最終まとめをすることとなりました。前回のWSでまだ付箋の意見出しの状態だったものが、3週間で整理されて事業パンフレットのビジュアルにまとめられたことに、ゲストも事務局も驚きとともに感服でした。どのような成果がまとまるか、乞うご期待です！



◆（一財）都市農地活用支援センター意見交換会

日時：令和2年2月10日（月）16:00～18:15

場所：促進機構会議室

出席者：一般財団法人都市農地活用支援センター

常務理事・統括研究員 佐藤 啓二

普及部長・主任研究員 林 賢一

都市農地活用保全アドバイザー 中佐 一重

民間事業者研究会 6社6名、促進機構 5名



都市農地活用支援センターにお越しいただき、主に生産緑地をはじめとする都市農地の活用にかかわる意見交換を行いました。挨拶の後、民間事業者研究会より活動概要等について説明し、続いて、都市農地活用支援センターより、業務の紹介や都市農地をめぐる動きと将来展望、都市農地を活用した今後の街づくりの在り方について説明がありました。その後、「都市の中であるべき農地（の機能）」、「植物工場」、「観光農園」等について、幅広く意見交換を行いました。

「直接施行相談会」の報告

2月13日（木）、令和元年度直接施行相談会第2回を開催いたしました。当機構登録専門家の日本測地設計（株）大高克則氏を講師に迎え、4つの団体の方々に対し、個別の相談事項へのアドバイスをいたしました。

◆直接施行相談会（第2回）

日時：令和2年2月13日（木）10:00～17:30

場所：促進機構会議室



平成21年度の財務省予算執行調査において「直接施行の適期検討ルールの徹底」が改善点として示されて以降、事業の長期化を回避するため適切な時期に直接施行の検討が行われるよう、国土交通省市街地整備課から毎年周知されています。合意形成の難しい地権者がいる場合は、事業の長期化を避ける観点から、お早めにご相談ください。

次回の直接施行相談会は、6月下旬頃を予定しており、4月下旬頃に募集を開始いたします。

お申込みは、促進機構ホームページの「イベント&セミナー」をご覧ください。

◆お問い合わせ先◆

公益財団法人区画整理促進機構

〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-12 B.D.A. 二番町ビル 2階

電話：03-3230-4513 FAX：03-3230-4514

HPアドレス：<https://www.sokusin.or.jp>

E-mail：mail@sokusin.or.jp